

平成28年9月1日号 (No.167)

## 「 目標と目的 」

伊丹市立総合教育センター  
所長 後藤 猛虎

今年はオリンピックイヤー、8月には多くの感動あるドラマが繰り広げられました。メダルを獲得した人、逃した人、それぞれに色々な思いがあるでしょう。

話は、クロスカントリースキーの日本代表選手、新田 佳浩さんのパラリンピックの思い出です。新田さんは、3歳の時に祖父が運転したコンバインに巻き込まれて左前腕を負傷し、切断するアクシデントに見舞われます。その翌年、4歳からスキーを始め、クロスカントリーに夢中になり、小学校を卒業するときには県大会で優勝するほどでした。しかし、中学生になると両手でストックを使う健常者に勝てなくなりやめてしまいます。ところが、高校生になって転機が訪れます。長野パラリンピックの関係者が出場を勧めに来たのです。元々実力のあった新田さんは、長野パラリンピックで8位、翌年世界選手権で優勝、ソルトレイクパラリンピックで銅メダルに輝きます。4年後のトリノパラリンピックでの金メダルが確実視されていました。しかし、迎えたトリノでは、バランスを崩して転倒し起き上がれず大敗します。トリノから戻った新田さんは家に引きこもります。家には祖父がいました。祖父は怪我をさせた自分をずっと責め続けていました。新田さんはそのことに気づいていました。家にいる祖父を見ていて、以前、金メダルを取ったら「おじいちゃんは俺にとって最高のおじいちゃんだよ」と言って、おじいちゃんに掛けてあげることが夢であったことを思い出します。新田さんは、何のための金メダルなのかを思い出したのです。「**目標は金メダルをとる、目的はおじいちゃんのため**」。そして、新田さんは4度目のバンクーバーパラリンピックで2個の金メダルを獲得したのです。



さて、「目標」と「目的」は学校でもよく使う言葉ですが、意味はかなり違います。目標とは、「〇〇に向かって、どういう状態にするか」であり、目的は、「なぜ、何のため」にあたります。言い換えると目標は目的のためにあるのです。目標がはっきりしていても、目的がなかったり、曖昧であったりすると意欲やモチベーションが上がらず、困難にぶつかった時、安易に目標を諦めてしまいます。

学期始めは、教師も子どもたちも新たな目標を決める時期です。目的を見定め、目標をもちたいものです。そして、目標が絵に描いた餅にならないよう繰り返し達成度を確認することが大切です。

# 教育の情報化 ～ICTの活用法～

今年度、伊丹市においては小中学校の全普通学級へ大型ディスプレイやプロジェクター、実物投影機が行き渡るよう追加設置をしました。今月は、ICTの基本と推進のねらい、また、具体的な活用法について紹介します。

## ICTとは…

Information and Communication Technology  
 I…Information 情報  
 C…Communication 通信  
 T…Technology 技術 の略

## いろいろなICT機器



### 映像機器

- ・実物投影機
- ・デジタルカメラ
- ・デジタルビデオカメラ



### 映像表示機器

- ・ディスプレイ
- ・プロジェクタ
- ・電子黒板



- ・ノートパソコン
- ・タブレット端末

## ICT機器を使うときのポイント

- ・すぐ使えるように接続等を済ませておく
- ・まずは既存の資料を使ったり、写真の表示だけしてみたりと、できることから試してみる
- ・1時間ずっと使うのではなく、ポイントをしぼり、効果的な場面で使う

## ICT推進のねらい

子どもにとって…

**楽しい授業  
分かりやすい授業**

**学習意欲・学力の向上**

教師にとって…

**資料の再活用  
資料の共有**

**業務の効率化  
子どもを見る余裕が生まれる**

## 具体的な活用法

### 興味・関心を高める

映像や写真、音声を活用する

- ・体育で自分たちの動きを録画し、練習に使う
- ・音楽で歌声を録音し、練習に活用する
- ・子どもが作った資料やノートを提示し、発表する
- ※NHKデジタルなど、教育用の動画サイトを活用しましょう。
- ・社会で歴史や産業の映像を視聴する
- ・理科の実験の写真や動画を確認する

### 分かりやすく説明する

教師の手元を映す・明確に示す

- ・家庭科で裁縫の仕方を映す
- ・図工で用具の使い方を説明する
- ・資料の着目すべき部分を大きく映す
- ・算数でグラフや目盛りを映し、読み取り方を説明する

### 授業内容を振り返る

前時の学習を振り返り、本時へつなげる

- ・前時の板書を映し、確認する
- ・体育で、動きを動画で復習させる
- ・優れたノートを写真に撮り、紹介する

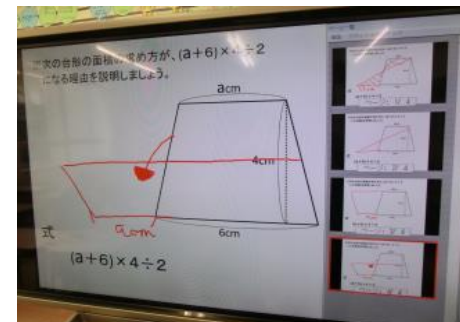
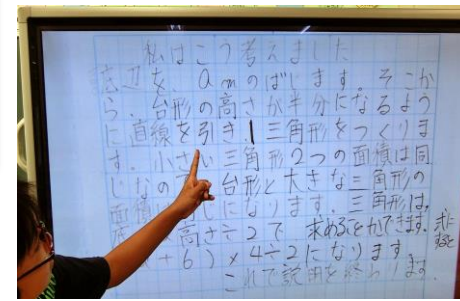
### 資料の再活用・共有

作った資料を、子どもの実態に合わせ再編集したり、教員間で共有したりする。

- ・計算や漢字などのフラッシュカードを映す
- ・漢字の小テストを提示する
- ・各クラスで体育大会の見本動画や、図工展の見本作品の写真を共有する
- ・同単元を指導する際にデータを共有し、業務の効率化を図る

### 授業以外での使い方の例

- ・次の時間の指示の表示をする
- ・掃除用具の片づけ先を写真でわかりやすく示す
- ・子どもが朝の会でスピーチの資料表示をする
- ・帰りの会で連絡帳の表示をする



今回紹介したものはほんの一例で、他にも様々な活用法があります。実際にICT機器を触って、自分に合う活用法を探してみてください。総合教育センターでは、これからも、教師と子どもにとって、ICTの活用が意味のあるものとなるよう、情報教育の推進を図ってまいります。

# 夏季研修報告

夏季休業中に総合教育センターでは 29コマの研修・講座を実施しました。その中から研修を選び、内容を紹介します。

## 「第2・3回道徳教育実践講座」(日本道徳教育学会近畿支部 行本 美千子 支部長) テーマ「道徳科の授業の在り方、進め方」

### 講座のポイント

「道徳の授業を進めるにあたって、教材研究(分析)やねらいにせまるための発問を丁寧に言い、授業をしていく必要がある」

### 内容

- ・道徳的価値の自覚の構図(主人公の変化を知る)
- ・教材分析シートを使った教材研究(中心発問・ねらい)
- ・グループによる模擬授業(情報の共有)
- ・対話する(受容する・さらに問う(問い返し))

### 受講者からの声

- ・対話を通じて教師が深めることができるよう、資料等をじっくり読むことが大切だと思った。
- ・ローテーション授業の指導案を考えるが、教材の骨格をつかんで構図を書き、中心発問をじっくり考えたい。



## 「保護者と教師のための講演会」(教育評論家 親野智可等 氏) テーマ「楽しい子育てで子どもは伸びる～目から鱗の子育てと家庭教育～」

### 講座のポイント

「目をつむる勇氣」、「ほめるコツ←部分をほめる」、「子どもが好きなことを応援することが良い」

### 内容

#### 「目をつむる勇氣」

- ・大人は短所に目が行きがちだが、思い切って目をつむり、ほめることが成長につながる。

#### 「ほめるコツ」

- ・子どもたちがすること、作ったものにはできていないところもあるが、ほめられるところもある。それを探しだし、部分をほめる。

#### 「子どもが好きなことを応援することが良い」

- ・子どもが好きなことをしている時は、脳がフル回転している。それをほめて伸ばすことで「自分ができる」と子どもが感じ、自尊感情が醸成され、その他のこともたくさん伸びる。

### 受講者からの声

- ・具体的な話が多く、わかりやすかった。苦手なことに勇氣を出して目をつむり、共感して子育てをしていきたいと思った。



## 「ライフスキル教育講座」(神戸大学大学院教授・伊丹市教育委員 川畑 徹朗 氏) テーマ「レジリエンシー(精神的回復力)を育てるライフスキル教育」

### 講座のポイント

「セルフエスティームやレジリエンシーの高い子どもを育てることが教育現場では重要である」

### 内容

#### 「セルフエスティームの高い子どもを育てるために」

- ・子どもの話をよく聴くこと。
- ・子どもに意志決定の機会を与えること。

#### 「レジリエンシーを育てることで得られる効果」

- ・児童生徒間のトラブルが起りにくくなる。
- ・主体的かつ効果的にトラブルを解決できるようになる。

### 受講者からの声

- ・セルフエスティームについて学ぶことができ、子どもへのアプローチの視野を広げることができた。学校生活で子どもが自分の気持ちを素直に話すことができるように、コミュニケーションをとることが大事だと思った。

